



株式会社日吉-滋賀大学 連携・協力協定を締結

本社:〒523-8555 滋賀県近江八幡市北之庄町908 TEL(0748)32-5111(代) FAX(0748)32-3339 / 東京支店:〒107-0052 東京都港区赤坂9-1-7 TEL(03)5772-6073(代)

国内事業

地域課題の解決に向け、滋賀大学と日吉が連携・協力協定を締結 2018.12.11

地域経済の活性化と地方創生への寄与を目的として、滋賀大学と日吉が連携・協力協定を締結しました。産業や教育の振興など対象となる領域は広く、とりわけ環境分野におけるビッグデータを活用した地域課題の解決支援に期待が寄せられています。

滋賀大学本部で開催された締結式では、位田学長と竹村データサイエンス学部長、当社の社長 村田弘司と常務 西野優が登壇し、調印を執りました。

設立60周年を迎えた、当社にとって記念すべきプロジェクトになることはもちろん、滋賀大学として40社目となる企業連携、さらに100件目の節目を飾る共同研究となります。

滋賀大学とともに当社が蓄積してきた膨大なログデータの「情報化」と「解析」を進めるなかで地域環境市場の課題を捉えなおし、品質向上・環境インフラのベストコンディション化・付加価値増加・売価低下の実現を通じて地域の発展を支援したいと考えています。



- ビジネス分野におけるデータサイエンスの応用に関し、共同して新たな手法の研究開発を行うこと
- 地域経済社会における人材育成に関すること
- 講師派遣、インターンシップ受入等に関する事項
- 雇用機会の拡充と人材交流



海外活動

JICA草の根技術協力でミャンマーへ 2019.2.3~2019.2.8

「ミャンマー連邦共和国ヤンゴン市下水処理場管理・保全能力向上プロジェクト」において3度目となる現地活動と中間セミナーが行われました。大阪市の提案により、(株)堀場アドバンスドテクノ（以下、HAT）と(株)堀場製作所が、水質モニタリング装置の設置とその使用や運用を通してヤンゴン市下水処理場の運転管理能力の向上についての指導などを実施するものです。

当社は協力企業として現地へ行き、HATをリーダーに簡易排水処理実験装置を利用した排水処理運転管理手法や水質分析技術指導を行いました。さらに水質及び流量モニタリング装置の操作と運用、運用管理記録に関するレクチャーを実施。今後は、現地関係者と情報交換を行いながら、事業目的の達成に向けた支援を続ける予定です。



「ミャンマー連邦共和国ヤンゴン市下水処理場管理・保全能力向上プロジェクト」

ヤンゴン市は、生活環境と水環境の改善のため下水道施設の拡張整備が計画されており、今後下水道への接続が進めば下水処理場への流入水量及び水質の変化が予想されます。ヤンゴン市都市開発委員会（YCDC）では、下水処理場の運営維持管理能力の向上により、下水処理場で処理できない物質や生物学的処理機能に悪影響を与える有害物質等の流入を未然に防ぎ、将来的なヤンゴン市の下水道施設等の計画や維持管理の発展に繋げていくことを目的として実施。当社はその協力機関として参画しています。



表彰・学会活動



「特定家畜伝染病に伴う防疫作業」県農政水産部より感謝状受領

2019.3.25

家畜伝染病「豚（とん）コレラ」の豚への感染が愛知、長野、岐阜、滋賀、大阪の5府県に拡大した問題において、当社は防疫活動に関わり早期収束に貢献。「特定家畜伝染病に伴う防疫作業」の功労に対し滋賀県農政水産部より感謝状を受領しました。



環境測定分析功労者表彰を受賞

2019.1.15

当社の技術部係長 宮村社員と藤本社員が、一般社団法人日本環境測定分析協会より平成30年度の環境測定分析功労者表彰を受賞しました。

その他表彰

- 2019.1.20 日本赤十字社滋賀県支部より支部長感謝状を受領
- 2019.2.13 淡海フィランソロピーネットより感謝状を受領

国外研修



開発途上国よりJICA研修生受入れ 2018.11.28

JICAの事業としてイラク・インド・ウガンダ・エジプト・エチオピア・スーダン・ミャンマーの7カ国から10名の研修生が来社しました。琵琶湖とともにある企業としての環境保全と環境ビジネスについて説明を行いました。



大阪府立大学さくらサイエンス研修生来訪

2018.11.29 / 2018.12.14

大阪府立大学ではJST*が支援するさくらサイエンスプログラムを実施しており、当社は2015年より毎年、研修生の受入れを行っています。2018年は、ベトナムとラオスからの研修生を受け入れました。



*JST：国立研究開発法人 科学技術振興機構

学会発表・講演



滋賀大学の中小企業研究会で講演 2019.1.28

近畿経済産業局が関西の大学生に対して地域中小企業の魅力を発信する取組みで中小企業研究会として実施しています。今回、滋賀大学の経済学部とデータサイエンス学部の学生239名が履修している「キャリアデザイン論」の授業で、当社の総務課 橋本侑季社員が企業紹介・自身の入社動機などについての講演を行い、やりがいなどについて語りました。

この講演は近畿経済産業局のホームページにも掲載されています。

「地域産業・企業から学ぶ社長講義」で登壇 2019.1.7

「日本の環境産業～中小企業の環境ビジネスの現状～」をテーマに当社の専務取締役 鈴木正が滋賀県立大学にて、当社の概要やグローバル化

への挑戦などについて講義をしました。学生からは、「社会に貢献できる大人になりたい」などの感想がありました。

その他学会発表

- 2019.2.23 第49回滋賀県公衆衛生学会

社会貢献



チャリティーバザー 2019に参加 2019.1.11～2019.1.13

不要になったカレンダーと手帳を販売し、収益金により県内の小学校に環境学習資材「栽培キット」を寄贈。子どもたちの環境・福祉学習の推進を目的としています。



- 用紙：琵琶湖の環境保全活動を支援する寄付金付びわ湖環境ペーパー 適切に管理された森林の木材を利用したFSC®認証用紙
- インキ：環境配慮型インキ（植物油インキ or ノンVOCインキ）
- 印刷：有害な廃液を排出しない水なし印刷
- 製造・廃棄に発生するCO₂を滋賀県内の排出削減事業者のクレジットによりカーボンオフセット済
- CO₂排出量：245kg/3,000枚